

地域で生活するための支援を考える 地域包括ケア会議

胆 振管内で洞爺湖町が、高齢化率が第1位となったことから、改めて地域での支援を考えようと「『自宅で暮らし続けるために私たちができる支援』を考える地域包括ケア会議」が、6月25日に役場防災研修ホールで開催され、民生委員や福祉委員、ケアマネジャーなど関係者80名が参加しました。

日常活動の報告を聞いた後に行われたグループ交流会では、それぞれの地区で工夫している活動などの情報交換のほか、ちょっとした声かけの大切さや地域で集まれる場づくりの必要性など、活発な意見交換が行われました。



グループに分かれて支援について意見を交わす参加者ら

講 談社がキャラバンカーに絵本をのせて、全国にお話を届ける「本と遊ぶ全国



児童の大きな笑い声が響いた読み聞かせ

おはなし隊」が、7月4日洞爺湖温泉小学校を訪れ、同小学校ととうや小学年の低学年児童に読み聞かせや紙芝居を披露しました。参加したのは、温泉小が1年7人と2・3年生（複式学級）14人。とうやは、1年生10人と2年生9人。

当日は、1年生グループと2年生グループに分かれ、読み聞かせとキャラバンカーにある550冊の絵本の自由閲覧を交互に行いました。児童らは、「はらぺこへびくん」などの絵本や「もったいないばあさん まほうのくにへ」などの紙芝居に歓声をあげていました。

講談社「全国おはなし隊温泉小訪問 低学年児童絵本の読み聞かせを楽しむ



協定を締結した真屋町長とコープさっぽろ宮嶋本部長

洞 爺湖町とコープさっぽろは、7月4日、高齢者などの弱者の孤立死を防止する「洞爺

湖町における高齢者等弱者の地域見守り活動に関する協定」の締結式を役場で行いました。

コープさっぽろの宅配システムを活用し、町内の高齢者の会員宅に配達した際、異変などきづいた場合、町に連絡することになっています。

締結式では、真屋町長とコープさっぽろの宮嶋美典宅配本部長が協定書を交わし、地域での安全確保について協力していくことを確認しました。

町とコープさっぽろが協定締結 地域の高齢者の孤立死防止

温泉地区公衆トイレの点検ボランティア 洞爺湖管工事業協会実施

夏 休みの観光シーズンを迎えて、洞爺湖管工事業協会（齊藤昌隆会長）は、毎年恒例となっている洞爺湖温泉地区にある公衆トイレの点検・無償修理のボランティアを、7月11日行いました。

各社から11人が参加して、珍小島公園駐車場のログハウス風トイレ、駅前棧橋前のログハウス風トイレ、噴水広場



公衆トイレを点検する技術者の皆さん

駐車場の木造トイレなどの8カ所で、水漏れ、水量調整、部品などを点検しました。

まちのわだい

